

M32C コンパクトエミュレータデバッグ ご使用上のお願い

M32C/84, M32C/85, M32C/86, およびM32C/87グループ用M32C コンパクト エミュレータデバッグの使用上の注意事項を連絡します。

- ウォッチドッグタイマを使ったプログラムのデバッグに関する注意事項

1. 該当製品

M32C/84, M32C/85, M32C/86, およびM32C/87グループ用
M32C コンパクトエミュレータデバッグ
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00

2. 内容

M32C コンパクトエミュレータデバッグ起動時に開くInitダイアログボックスの "ウォッチドッグタイマを使うプログラムをデバッグする"チェックボックスの状態がエミュレータに反映されません。そのためウォッチドッグタイマを使ったプログラムがデバッグできない場合があります。

3. 回避策

ウォッチドッグタイマを使ったプログラムをデバッグするには、デバッグ起動後 すぐにメニュー「表示」→「スクリプト」を選択してスクリプトウィンドウを オープンし、そこで以下のコマンドを入力してください。

WDT USE

デバッグを終了した場合は、上記設定は自動的に解除されます。

よってデバッグを再度起動した場合は上記を設定しなおしてください。

上記コマンドでの設定を解除する場合には、下記コマンドを入力してください。

WDT NOTUSE

このコマンドを入力した直後に、ウォッチドッグタイマの設定を解除するためにエミュレータがMCUのリセットを行います。

4. 恒久対策

次期バージョンアップ時に改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.